

齋小全体構想（学校教育目標とめざす子ども像） R 8 年度版

＜第三ブロック 小中一貫教育目標・目指す子どもの姿＞

自律

自分で考え判断し行動する子

共生

自分もみんなも大切にする子

創造

よりよい目標を持ち活動する子

《齋小学校教育目標》 元気・本気・笑顔があふれる学校

令和 8 年度の重点目標：「自律・共生・創造を目指し、友達と協力し積極的に挑戦する子どもの育成」

創立 150 周年

○学習指導要領

- ・社会に開かれた教育課程・カリキュラムマネジメント
- ・主体的・対話的で深い学び

○第 7 次山形県教育振興計画(後期計画令和 7 年度～)

- ・ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現をめざす山形の人づくり

○鶴岡市学校教育重点目標

- ・逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進

○第 3 ブロック共通の課題

- ・あいさつ ・自己肯定感 ・セルフコントロール
- ・自己決定力 ・相手意識 ・自己（他者）理解 ・体験活動

《本校児童の良さと課題》

- 素直で明るく、心が安定している児童が多い。
- やるべきことは真面目に取り組む。
- 縦割り活動等の異学年交流により優しい心が育っている。
- 地域や他校との交流を通して、人・物・自然と関わって学ぶ力がつき、地域への関心を深めている。
- ▲積極的に挑戦する態度・失敗経験を受け入れる姿勢
- ▲関わり作り、折り合い作りと自己有用感と他者理解
- ▲読解力、応用・活用する力、表現力の向上
- ▲自己管理の力・規範意識(生活リズム、メディアとの関わり)
- ▲主体的学び、家庭学習の質の向上

こころ

- 相手意識を持ち、自分もみんなも大切にし、協働してよりよい生活を創る子ども

あたま

- 楽しさ・喜びを感じながら、自分で考え、判断し、主体的に学ぶ子ども

からだ

- 目標をもって活動し、運動に親しみ、自らの健康・安全について考え、管理できる子ども

○自律的・主体的に活動できる子ども

⇒「自分たちの学校・学級は自分たちで作る」

- ・自治意識・自浄作用のある児童会活動

★自己肯定感の向上＜創造＞

- ・話し合いを通し、主体性を育む特別活動
- ・規範意識の育成(ルール・マナーの定着・言葉づかい)

○他者との関わりの中で自己有用感を高め、社会性を身につけた子ども

⇒心を掘り起こし、実践力を育む

- ・学級経営(安心・安全・居場所作り)
- ・道徳教育の充実(多様な価値観)
- ・いじめ防止・不登校の予防(未然防止・早期発見・早期対応)※組織的対応
- ・あいさつの大切さ＜自律＞
- ・縦割り活動の充実、他校や地域との交流を通した相手意識の醸成＜共生＞

小小連携・小中連携

○知的好奇心にあふれる子ども

○主体的・協働的に学ぶ良さに気づき深い学びにつなげることができる子ども

⇒学校研究を核とした授業改善

- ・学力向上と指導力の向上・OJT の充実

⇒「い・つ・き」の学びの日常化

- ・教職員と児童が目指す授業を共有・共に考える「い・つ・き」の学び

⇒学習指導要領の趣旨と内容を踏まえた資質・能力の確実な育成

★自己理解・自己決定力育成＜共生＞

- ・地域連携、体験活動の重視＜創造＞

・ICT タブレット活用の推進

- ・対話力の向上(言語活動の充実・アウトプット)＜共生＞

⇒心と言葉を育み、学びを深める読書活動の充実(朝読書の充実・読書の日の設定)

⇒授業と運動した家庭学習指導＜自律＞

○達成感・成就感を味わい、楽しく運動をする子ども

⇒運動特性に触れさせる楽しい教科体育の指導

⇒めあてをもって精一杯取り組む「いつきっ子運動」の充実

- ・持久走 ・なわとび

○健康・安全への知識と実践力を持つ子ども

⇒主体的に取り組む「早寝・早起き・朝ごはん運動」「セーブメディア」

★セルフコントロール＜自律＞

- ・家庭との連携、協力の強化
- 「齋小メディア 18 の約束」の継続

⇒命を守る、危機回避能力の育成

- ・実際場面を想定した避難訓練、交通安全指導
- ・登下校の安全

⇒清掃の意識向上＜共生＞

★:3B 重点項目

＜学校運営協議会＞ 熟議 子どもを中心にした対話と連携・協働 願いの共有

※ 3B 学校運営協議会

家 庭

「子どもの学びや社会性を育む原点」

- 基本的生活習慣の確立 ○心身の健康 ○読み聞かせ
- 集団の一員として ○挨拶・関わり・思いやり

地 域

「地域の子どもを共に育てる」

- いつき見守り隊 ○齋地区児童安全対策協議会 ○150 周年
- 多様な学びの場、安心安全な環境(人・もの・自然)
- 齋地区成人講座との連携(ミュージックベル・だがしや楽校)